DELL Technologies

# サステナビリティを重視して設計されたソリューション

## Dellキャリー ケース

# サーキュラー デザインを支持する

革新的な素材や工程を活用して、キャリー ケースの環境に与える影響を低減

### 排出量の透明性 ›

キャリー ケースを含むDell製品の排出量への影響を開示しています。

### 環境に配慮した染色工程 ›

製造プロセスでどのように排出量の削減に貢献できるかをご確認ください。

### 再生ポリエステル ›

Dellがどのように考え抜かれた素材を使用して廃棄物の削減に貢献しているかをご覧ください。

### オーシャンバウンド プラスチック ›

Dellがどのように海洋廃棄物を転用し、キャリー ケースにリサイクルしたり再利用しているかをご覧ください。

### 袋から箱へ ›

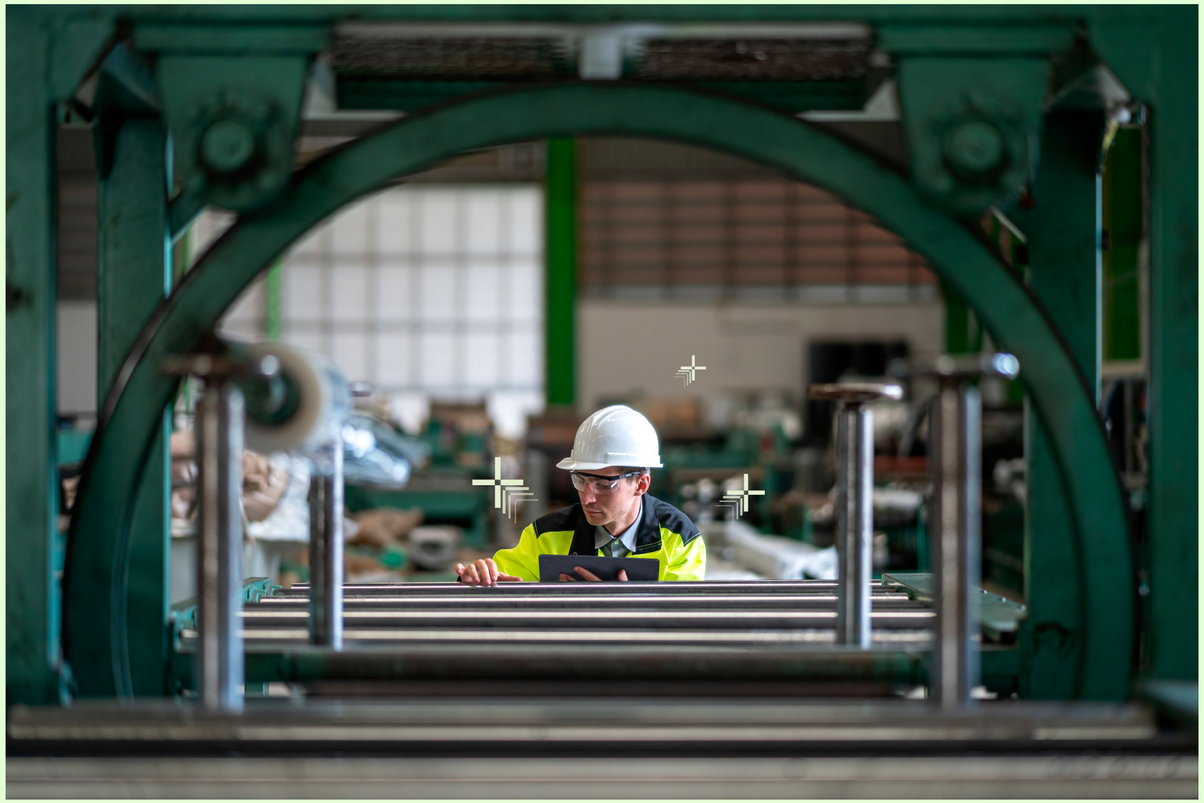
Dellでのキャリー ケースの梱包がどのように改善されたかをご覧ください。

# 排出量に関する透明性

## 製品の排出量の影響を開示

現在Dellでは、EcoLoopキャリー ケースの排出量の影響を計算しており、主要パソコン ブランドで最初にして唯一、キャリー ケースの製品カーボン フットプリントに関するデータを提供しています。[1]

当社は、排出量の影響について透明性を保ち、製品購入の際の指標として役立てていただくことを目指しています。



### ご存じでしたか？

Dell Pro 14-16 Plus EcoLoopスリム バックパックの製品カーボン フットプリントは6.67kg$CO_2$eです。これは、ガソリン乗用車1台が1年間走行した場合の平均$CO_2$排出量を下回る量に相当します。[2]

**製品カーボン フットプリントを確認できる製品：**

- Dell Pro 14-16 Plus EcoLoopバックパック
- Dell Pro 14-16 Plus EcoLoopブリーフケース
- Dell Pro 13-14 Plus EcoLoopブリーフケース
- Dell Pro 14-16 Plus EcoLoopスリム バックパック
- Dell Pro 15-16 Plus EcoLoopスリム ブリーフケース
- Dell 14-16 EcoLoopバックパック

製品カーボン フットプリントに関する情報はこちら。

# 環境に配慮した染色工程

繊維業界はエネルギーと資源を大量に消費しており、世界の二酸化炭素排出量と産業廃棄物の大部分はこの業界によるものです。[3]従来式の手法である浸染で染色されたポリエステル素材も、この問題の一部となっています。

浸染の工程では、染料、柔軟剤、均染剤、乳化剤、添加剤やその他の化学物質を生地に付着させるため、水とエネルギーが大量に消費され、廃水や排ガスなどの汚染物質の排出につながります。

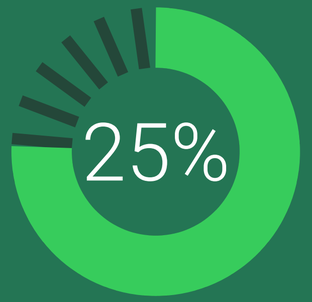
溶液染色はまったく異なる生地の染色方法であり、より責任感のある方法でもあります。ポリエステル ペレットを着色剤と混ぜ合わせた後に、繊維として成形するのです。この工程では糸が均一な色に染まるため、追加の染色が不要です。

## もたらされる影響

当社のお客様は、現代的でファッショナブルでありながら、環境を犠牲にしないキャリー ケースを求めています。EcoLoopは、機能的でスタイリッシュかつ持続可能なキャリー ケースを、責任を持って提供します。この溶液染色手法は、環境にとっての大きなメリットがあるだけではありません。薄い層に色を吸着させるのではなく、繊維の全体に渡って均一な色に染めることができるため、色落ちしにくいという長所もあります。

環境に配慮した染色工程では、従来の染色工程と比較して、材料1kgあたりの温室効果ガス排出量を最大97%、水への影響を96%、化石燃料の使用量を98%削減できます。[4]

繊維業界は、世界の製造業の40%を占めています。[5]



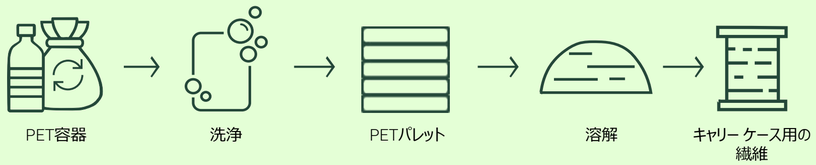

全世界で製造されるすべての化学物質の25%が繊維業界で使用されています。[5]

Dell EcoLoop™キャリー ケースには、これまでに1,900万本のペットボトルに相当する182メートル トンの再生プラスチックが使用されています。[7]

182メートル トン ＝ 1,900万本

# 再生ポリエステル

Dellは、PET容器を繊維にリサイクルする認定ベンダーと協力しています。PETボトルは洗浄され、パレットに粉砕された後、溶解して繊維化され、キャリー ケースに織り込まれます。一部のEcoLoop™キャリー ケースの外装生地は、再生ポリエステルを100%使用して製造されています。[8]



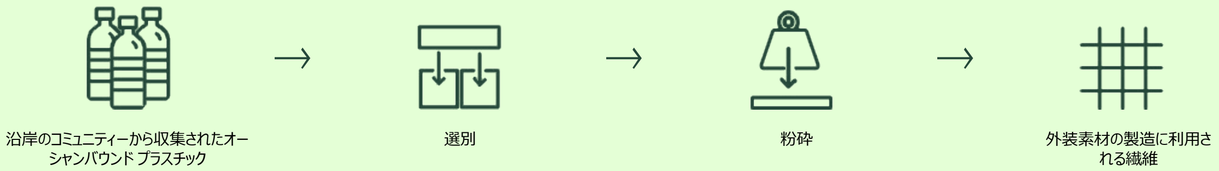

## ご存じでしたか？

バージン ポリエステルを使用した場合と比べて、再生ポリエステルがもたらす環境面の利点（最大値）：[6]

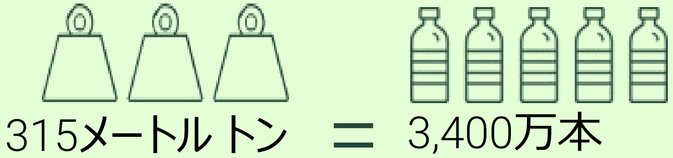
**89%**化石燃料使用量を低減
**85%**水質への影響を低減
**70%**温室効果ガス排出量を低減

# オーシャンバウンド プラスチック

Dellは廃棄物を資源として利用しながらサステナビリティを推進しており、沿岸のコミュニティからオーシャンバウンド プラスチックを調達する認定サプライヤーとも協力しています。収集のプロセスは完全に追跡可能であると同時に、常に高い品質を維持し、誠実な社会的、環境的影響を生み出しています。沿岸から収集されたプラスチックは、選別され、粉砕され、繊維として成形されて、外装素材の製造に利用されます。一部のEcoLoop™キャリー ケースの外装生地は、再生オーシャンバウンド プラスチックを100%使用して製造されています[9]。




Dell EcoLoop™キャリー ケースには、これまでに3,400万本のペットボトルに相当する315メートル トンのオーシャンバウンド プラスチックが使用されています。[10]



# 梱包の改良

Dellは、可能な限り廃棄物の削減に取り組んでいます。2025年に発売予定のEcoLoop™バッグは、100%リサイクル素材または再生可能素材を使用した梱包材で出荷されます。ビニール袋は梱包に一切使用されなくなります。[11]

DELL Technologies

# 免責事項

1. 一部のDellキャリー ケースでは、「製品の二酸化炭素排出量」データを確認できます。
2. 2025年2月に実施された社内分析に基づきます。このDell Pro 14-16 Plus EcoLoopスリム バックパックの製品カーボン フットプリントは、ecoinvent v3.9.1データベースを使用して計算され、SimaPro v.9を使用してモデル化されたものです。ここに表示される結果は、ソフトウェア システムのアップデートに伴い変更される場合があります。ガソリン乗用車の排出量の見積もりには、温室効果ガス等価計算ツール(https://www.epa.gov/energy/greenhouse-gas-equivalencies-calculator)を使用しました。
3. https://unece.org/trade/press/new-study-outlines-directions-more-transparent-and-sustainable-textile-value-chains
4. この結果は、app.worldly.ioから入手可能なHigg MSI 3.6を使用して計算されたものです。計算結果はPositive Scenarios Consulting, LLCが算出したものであり、Higgによる検証は行われていません。
5. https://unece.org/fileadmin/DAM/uncefact/UNECE_Research_Paper_Traceability_for_Sustainable_Clothing_Nov_2017_FINAL.pdf
6. 結果は、app.worldly.ioから入手可能なHigg MSI 3.8を使用して計算されています。計算結果はPositive Scenarios Consulting, LLCが算出したものであり、CascaleまたはWorldlyによる検証は行われていません。
7. 2024年1月発表の製品に適用されます。社内分析（2023年10月）に基づきます。ペットボトルの推定本数は、500 mlペットボトルを想定。
8. 外側のメイン ファブリックは、100%再生ポリエステル繊維で作られています。ペットボトルの推定本数は、500 mlペットボトルを想定。
9. オーシャンバウンド プラスチックは、海岸線または幹線水路から50キロメートル（30マイル）以内で収集された廃棄物です。
10. 2024年1月発表の製品に適用されます。社内分析（2023年10月）に基づきます。ペットボトルの推定本数は、500 mlペットボトルを想定。
11. 2025年2月に実施された社内分析に基づきます。2025年発売のEcoLoopキャリー ケースに適用されます。